

今年もコロナ禍の影響で、計画していた事業が開催できず残念な一年となりました。

その中でも開催出来たニブ活（二部地区活性化推進機構の愛称）事業、公民館事業を協力して出来た事は良かったと思います。引き続き地域の元気につながる活動を頑張ります。



委員総会にて表彰

【活性化事業】

○今年度は、二部地区活性化推進機構の愛称募集を実施したところ、裕達子さん命名の「ニブ活」に決定し、4月21日の委員総会で表彰されました。皆さんに親しみやすく愛着を持って活動に参加して頂けるよう広めて行きます。

また、事業として7月と12月にはふるさと小包便の販売を行い、沢山の方に二部の味を楽しんで頂きました。



ふるさと小包便の内容



ハロウィンイベントの様子

例年行っている盆花販売は、早朝にも関わらず地域の方に来て頂き、事業として定着したように感じています。また、ハロウィン行事も開催することができ、あいにくのお天気で少し寒い中のパレードとなりましたが、大人も子供にも楽しい一日となりました。

この他、春の挿し芽作業から立派な花を咲かせる菊花展や、春と秋に実施の一斉清掃も開催し沢山の参加を頂きました。

【公民館事業】

○例年4月に実施の高齢者学級開講式が10月になるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により行事が秋以降の開催となり、地区運動会や、公民館まつりは令和3年度も中止となりました。このような状況の中でも地域の結束力や活力を維持するために、可能な活動を継続できるよう地域のみなさんと協力しながら模索していく必要があると感じています。

この他、昨年度に続き、各区長さんに協力いただき「空き家状況」及び「買い物困難者」に関するアンケート調査を実施しています。

二部地区の人口データの推移からも、着実に少子高齢化が進んでいる状況が確認でき、調査の結果を踏まえて考えると、空き家も買い物困難者も将来的な対策の必要性が予測できました。この状況を踏まえ、今後、買い物困難者の支援としてどういう事に取り組めるか検討を行う予定としています。

他人事ではなく、自身が地域に住み続けるためにも必要な事項として捉え、取り組んでいきたいと思っています。